

平成22年度

事務事業評価表(平成21年度の実績評価)

記入年月日  
平成 22 年 3 月 31 日

Table with columns for 事務事業名 (子ども伝統文化教室), 区分 (分野別主要事業, 未来プロジェクト事業, etc.), 事務事業No. (32434112), 課内No. (112), 所属部 (教育委員会), 所属課 (文化生涯学習課), 課長名 (杉山文男), 所属係 (文化振興係), 担当者名 (君島真理子), 事業期間 (単年度のみ), 単年度繰返し (18年度~), 期間限定複数年度 ( )

[Do] 1. 事務事業の現状把握 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

○茶道、華道など、日本の伝統文化を保存継承するために、小学生、中学生を対象に次の講座を開催する団体に助成金を交付。それぞれの発表会の連絡調整。真壁いけばなこども教室 13回 参加人数17名 真壁茶道体験教室12回 参加人数20名 大和楽しいいけばな教室 11回 28名 よい子の茶道・華道礼法教室 23回 参加人数 20名 ○文化庁の子ども伝統文化教室として文化庁から採択を受けた団体の事業への協力(受講者募集案内、教室の会場提供、発表会の協力等)

(1) 事務事業の目的

Table with 4 columns: ①手段(21年度 実際に行った主な活動), ②対象(誰、何を対象にしているのか), ③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか), ④結果(どんな結果に結び付けるのか). Includes ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標 with units and values.

(2) 指標値の推移

Table showing trend of indicator values from 18年度 to 23年度. Columns include 区分, 単位, 18年度(実績), 19年度(実績), 20年度(実績), 21年度(実績), 22年度(計画), 23年度(目標). Rows include ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing trend of input amounts (business expenses) from 18年度 to 23年度. Columns include 18年度, 19年度, 20年度, 21年度, 22年度, 23年度, 期間限定総投入量. Rows include 事業費 (国庫支出金, 県支出金, 地方債, その他, 一般財源, 事業費計(A)), 人件費 (正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計(B)), トータルコスト(A)+(B).

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

文化庁の伝統文化こども教室の助成金が終了した団体を対象に開始。桜川市として子ども伝統文化教室助成金募集を案内。今年度は真壁地区の茶道連盟と華道部が申請。茶道、華道の講師ばかりでなく、伝統文化に触れることが少ない若い母親層や家族による開講への期待も大きい。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

文化の向上の成果は単年度では無理。そのため、各団体が継続を希望

事務事業名	子ども伝統文化教室	事務事業No.	32434112	所属課	文化生涯学習課
-------	-----------	---------	----------	-----	---------

【See】 2. 評価の部 \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目		
目的 妥当性	<b>① 政策体系との整合性</b> (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 生涯学習機会の充実、市民文化活動の促進、青少年の健全育成に整合する	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	<b>② 公共関与の妥当性</b> (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) ややもすれば趣味教養のものへの助成金とであるが、講師謝礼金が90%であるため、該当性が疑問視される。発表の活動経費としての助成金として位置づける	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	<b>③ 対象・意図の妥当性</b> (対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?) 小・中学生。茶道。華道教室の講師謝礼金が大部分をしめている。また、茶道、華道の2部門のみのため、ほかの伝統文化を対象にすることも考慮すべき	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有効性	<b>④ 成果の向上余地</b> (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 子ども教室への参加者が年々、低学年になってきている。小学生をとりまく状況がかわってきており、部活動、スポーツ少年団などにより参加者が少ないため、放課後や子育て支援などと提携して開催することも考える。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
	<b>⑤ 廃止・休止の成果への影響</b> (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 文化協会の人材育成意欲の低下、伝統文化の停滞	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	<b>⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性</b> (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input type="checkbox"/> 子育て支援や放課後子ども教室、子ども会活動などと連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	<b>⑦ 事業費の削減余地</b> (成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 茶道連盟、華道部内での講師謝礼金であるため、謝礼金の限度枠を決める	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない
	<b>⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?) 各教室で行っているため削減余地なし	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	<b>⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地</b> (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 趣味教養的なものと考えられることも多いため、材料費、講師謝礼の一部負担は受益者に負担させることはやむを得ない。	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

<b>(1) 1次評価者としての評価結果</b> ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b> ・参加子どもは低学年層が多く、親子で参加する姿も見られる。参加費も実費のみで、伝統文化に触れることができ、継続受講している子どもが多い。教室実施の効果がみられるが、今後補助金の減額により参加者の負担が多くなると、参加の減少化もある。また、いけばな、茶道ばかりでなく、伝統文化の部門を広げ、日本文化の豊かさを体験できる機会を設ける。 ・効率性、有効性について、より多くの参加者が得られるよう、土曜や日曜ばかりでなく、放課後など、学校教育との連携も考えてられる。																					
<b>(3) 今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	<b>(4) 改革・改善による期待成果</b> (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>X</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>X</td> <td>X</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			X	低下		X	X
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			X																		
	低下		X	X																		
<b>(3)-1 改革改善策</b> 伝統文化の部門枠を広げる。																						
<b>(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</b> 対象とする子どもたちの参加意欲、伝統文化教室の内容の充実または改善、新たな企画																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

<b>(1) 課長評価</b> 課長確認後の評価 B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	<b>(2) 部長確認及び評価</b> (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 未
<b>(3) 2次評価における改革改善案</b>	<b>(4) 2次評価における指摘事項</b>